

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第28報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年10月7日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Cryptomonas sp.
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。
等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント
植物プランクトンは、引き続き総細胞数が少なかった。動物プランクトンではノウプリウスが最も多く、ついでゾウミジンコが多かった。その他にハネウデムシ、ネズミムシの一種等が見られた。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Nauplius</i>	140

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成14年10月7日

第28報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	2		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	32		
(緑) <i>Staurastrum</i> sp.	1		
(藍) 藍藻綱	2	0.8	3.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	20	8.1	15.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	4.0	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	140	56.7	52.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	75	30.4	27.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	247	総体積 (μm^3)	3.35E+05
種 類 数	10		

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。